



開校30周年を迎えて

瀬戸市立萩山小学校長 鈴木真人



萩山小学校は昭和48年4月1日に原山小学校から分離して開校しました。そのときの児童数は144名で、クラスは6クラスでした。その後、萩山台の住宅整備にともない、児童数が年々増加し、昭和58年度には、児童数1,104名、27クラスのマンモス校になりました。この時期をピークに児童数は漸次減少して、平成14年度は294名12クラスとなりました。

この30年の間に地域の方々、諸先輩の職員の方々が、石ころの大地に施設を整え、木を植え緑を増やす営みを続けられた結果、今では瀬戸市の中でも緑に恵まれた学校となりました。

現在は小規模校となりましたが、小規模校の良さを生かした「全児童が助け合うコミュニケーション作り」と「自分たちの手による学校作り」に励んでいます。

ここ数年、萩山小学校を卒業した保護者の方のお子さんが少しずつ増加してきました。萩山小学校に対する地域の方々の思いが、ますます強くなっていく時代が来るのだなあと感じています。

校歌

作詩 大野 定一
作曲 横川 志保子

一、風さわやかな丘の上
明るく陽ざし校庭に満ち
学びにはげむ瞳あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

二、鈴鹿は遠く陽に映えて
大きい空にとどかんと
望みを語る響きあり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

三、朝露光る学舎に
みなぎる力身にひめて
未来をめざす姿あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

昭和 55 年 10 月 2 日

秋季大運動会にて校歌披露

開校 5 年目「今年こそ校歌をつくろう！」という機運が高まってきた。
PTA のみなさんにも詩やメロディーの公募をした。
応募された作品の詩やメロディーをもとに、大野定一校長先生の作詩、
横川志保子先生の作曲で、親しみやすいすばらしい校歌が完成した。

開校30周年を祝って

萩山小学校 PTA 会長 原 忠巳



昭和48年に開校した萩山小学校が、30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。この30年間、幾多の困難を乗り越え萩山小学校を支えてこられた先生方をはじめ、保護者の方々、又、地域の方々に厚く御礼申し上げます。

開校以降、学校教育を取り巻く環境も、めまぐるしく変化してきました。この30年の間に21世紀を迎え、最近では、少子化等により子供達の人数が年々減少しているのが実情です。

また、学校5日制で土曜日が休みとなり、親子のふれあい、地域での親睦が求められています。そのためにも、現在萩山小学校で行われている萩山ラリー等、保護者の方、地域の方々にご協力を頂いているすばらしい活動を今後も継続させてほしいものです。こういった活動を次の世代に引き継いで行くことは、大切でありすばらしいことだと思います。

私たちPTA役員も、保護者の方々や地域の方々と共に、これまで以上によりよい学校づくり、よりよい環境づくりに協力をしていきたいと思っています。そして、萩山小学校が、さらなる発展をされることを、心より期待しています。